

## 1. 授業の概要(ねらい)

実社会における経験の少ない学生にとって、商法は馴染みの少ない分野に感じられるかもしれない。しかし我々が日常的に行っている経済活動において、当事者の少なくとも一方が商人であることは少なくない。このような商人とはどのような者なのか、商取引とはどのようなものなのかを示し、また、種々の商取引について規律するのが商法である。

一般的に商法に関連する法には、商法(商法総則、商行為法等)だけでなく、会社法、決済法(手形小切手法)などの様々な分野が含まれるが、本講義では商法を学ぶ出発点として商法総則を扱う。具体的には、商法には、どのような商人に関わる様々な法規制や制度が存在し、なぜそのような規制が設けられているのかについて理解し、議論を行えるようになることを目的とする。

## 2. 授業の到達目標

- ① 商人や商取引という基本的な概念を理解し、説明することができる。
- ② 商人に関する重要な判例を理解し、自分の言葉で説明することができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

小テスト:20%  
 授業内試験:80%

## 4. 教科書・参考文献

教科書

近藤光男著 『商法総則・商行為法』(第7版、2018) 有斐閣

参考文献

江頭憲治郎・山下友信編 『商法(総則・商行為)判例百選』(第5版、2008) 有斐閣

## 5. 準備学修の内容

シラバスの授業内容を参照して、テキストの該当箇所を読む。

次の授業で扱う範囲を理解した上で、日経新聞等の中で関係するニュースを探してまとめてくる。

(詳細は初回授業で説明する)

## 6. その他履修上の注意事項

授業中の私語等、迷惑行為は慎むこと。

出席して居ることを前提とするため、授業で配布したレジュメ等は、事後的に配布することはしない。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション、商法の意義
- 【第2回】 商法の法源、商法の適用、商法の基本概念
- 【第3回】 商人①(商人の定義)
- 【第4回】 商人②(商人の定義、商人の得喪)
- 【第5回】 商行為①(商行為の分類、絶対的商行為)
- 【第6回】 商行為②(営業的商行為)
- 【第7回】 商行為③(営業的商行為、付属的商行為)、商業登記①(商業登記とは)
- 【第8回】 商業登記②(商業登記事項、商業登記の審査権、商業登記の消極的公示力)
- 【第9回】 商業登記③(商業登記の積極的公示力、不実登記)
- 【第10回】 商号①(商号の意義、商号の選定、商号使用权)
- 【第11回】 商号②(名板貸)
- 【第12回】 商業使用人①(商業使用人の意義、商業使用人の種類、支配人の意義)
- 【第13回】 商業使用人②(支配人の選任、支配人の代理権、支配人の義務)
- 【第14回】 商業使用人③(表見支配人)
- 【第15回】 まとめと授業内試験